



地元企業と協力してグローバルな心を育む 交流することで知る外国文化



東原小学校は、今年の9月から地域の会社で働いている外国人技能実習生を招いて、外国語の授業を行っています。この授業のおかげで、こんなに近くで外国人が働いているということを知ることができました。それぞれ母国語は違いますが、英語を勉強することでお互いの国や家族のことを教え合ったりすることができます。今後は日本の遊びを教えたり、外国の文化をもっと教えてもらったりしたいです。

輝け！ ジュウダイ

東原小学校



▲カンボジア人の先生による授業の様子

紹介してくれるのは

東原小学校
かきもと りき
柿元 里砂 さん(5年生)

好きな科目は算数で、1年生の頃から始めたそろばんは3級の腕前。地元のミニバスケットチームにも所属するなど文武両道を目指している。ダンスが得意で、運動会でもキレの良いダンスを披露した。



本院は、ご家庭の事情で養育が難しくなったお子様を24時間365日体制でお預かりする施設です。私は、児童相談所や市町村をはじめとする関係機関との会議や保護者との連絡などを主な業務としています。働く中で、昨日できなかったことができるようになったりするなど、子どもたちの成長に立ち会えるとうれしいです。また、おうちに帰ったお子様が後日訪ねてきてくれて、その大きくなった姿や家族の笑顔を見られると喜びを感じます。乳児院は子どもたちにとって「もうひとつのあったかいおうち」であることが大切なため、

おしごとの時間

鹿屋で暮らす・働く



大窪さんの職場

社会福祉法人
潤心会かのや乳児院(寿8丁目)
【事業内容】児童福祉施設
【設立】昭和24年【従業員数】26人

職場環境も重要。私自身も育児休暇を2度取得し、各種研修へも積極的に参加するなど、本院は働きやすい職場です。今後も、あったかいおうちであり続けるとともに、地域と連携しながら各家庭への支援に取り組んでいきたいと思っています。



子どもの笑顔が一番

社会福祉法人潤心会かのや乳児院家庭支援専門相談員
おおくほ けんご
大窪 健悟 さん(33歳/入職11年目)

串良町岡崎出身。鹿屋工業高校卒業後、鹿児島国際大学に進学し本院に入職。自宅で子どもたちとバーベキューなどをして休日を過ごしている2児の父。